

平成30年7月1日

「2019年G20大阪サミットに係る取組について」

大阪府政策企画部サミット協力室
大阪市経済戦略局サミット協力室

集中周知期間の取り組み

- ◆ G20大阪サミット開催までの期間を「集中周知」「理解促進」「参画」の3つのステージに分け、各々のステージにあわせた広報に今後取り組む



- ◆ 集中周知期間には、「サミット開催日」や「大阪での開催意義」を住民・事業者呼びかける

- ◆ サミット1年前の6月28日を目途に、以下の取組みを展開

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| ☞ 第一弾ポスター・リーフレットの作成 | ☞ 協議会HPの立上げ |
| ☞ キック オフ フォーラムの実施 | ☞ サミット開催期間中の催事への協力・配慮依頼（企業向け） |

- ◆ 今後、時宜に合わせた広報は以下を予定

- ・ 第2弾（理解促進）：各種行事案内や宿泊予約案内等について、様々な手法による理解・協力の呼びかけ
- ・ 第3弾（参画）：開催直前に、成功に向けた機運盛り上げや各種規制情報を提供

■ 開催周知ポスター等の掲出・配架

- サミットの開催を周知するため、第一弾ポスター及びリーフレットを6月中旬から掲出・配架
- 配付先
関西広域連合の構成府県市、大阪府・大阪市及び市町村の関係各所、民間企業
- 配付数
ポスター1万枚
リーフレット3万枚
- その他、府政だより、区政だより（大阪市）へも記事を掲載



ポスター (B2版縦)

■ 協議会HPの開設

- これまで、府市HPを通して、協議会情報を発信していたが、このたび両団体のHPを統合し、「協議会HP」を開設（6月28日）
- 地元向けにイベント情報や規制情報を掲載し、一部内容は多言語化を予定
- 協議会として、サミット関連情報の総合的・体系的な情報発信が可能に



URL:<https://www.2019-g20-osaka.jp/index.html>

■ G20大阪サミット 1年前 キックオフフォーラムの実施

1. 目的

- 協議会主催のフォーラムを実施
- サミット開催一年前を契機に、住民・事業者に対し、会長（松井大阪府知事）及び会長代行（吉村大阪市長）より、安全・安心の確保や万全のおもてなしに向けて協力を呼び掛けるとともに、サミットの開催意義を伝える

2. 概要

日時：2018年6月28日

場所：大阪府咲洲庁舎 咲洲ホール

内容：会長・会長代行挨拶
G20大阪サミットの概要説明
岡村特任全権大使による講演



3. 開催結果

参加者：250名（報道関係者：25名）

■ サミット開催時の催事協力 依頼

- サミット開催前後、会場及び首脳の宿泊ホテル周辺は、催事等の開催に支障をきたす可能性がある
- 株主総会等の催事について、会場を予定されているホテル等と調整いただくよう、協力依頼を実施

【通知の概要】

- 標題：G20大阪サミット開催時における各社催事について（お願い）
- 発信先
経済団体3団体会員企業
（公益財団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会）
- 通知日
6月4日

宿泊予約センターの設置

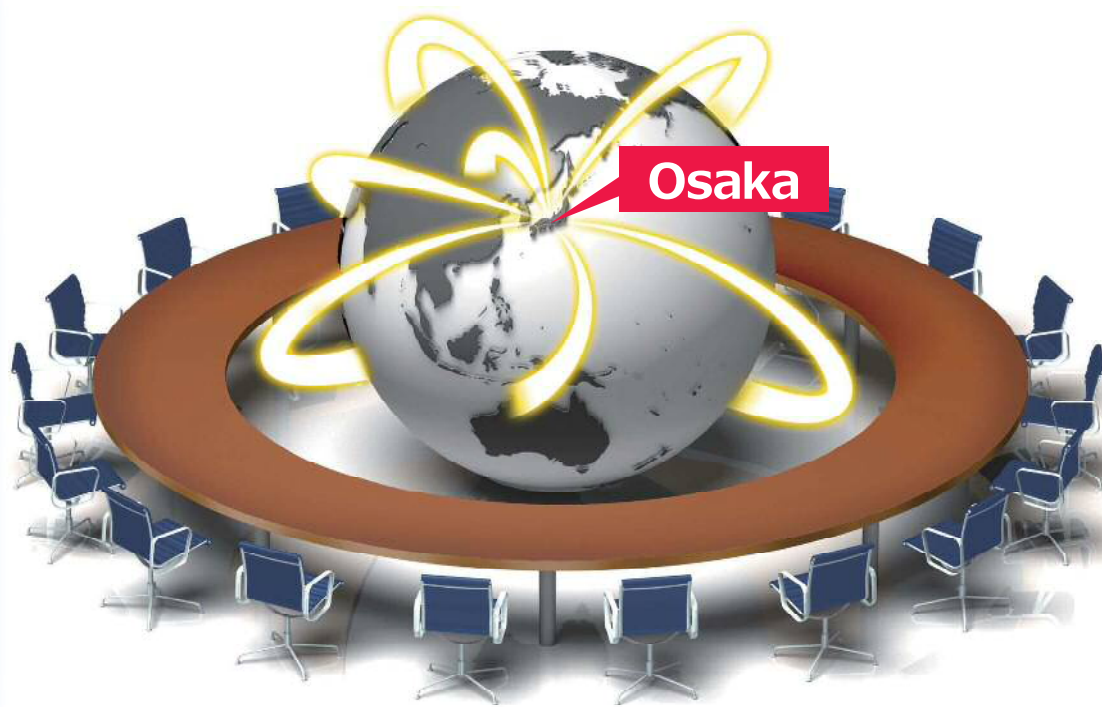
項目	内容
設置の意義	サミット開催時に大量かつ集中的に来阪するサミット関係者の宿泊先を、安定的かつ効率的に確保・提供するため、サミットの宿泊業務を一元的に担う「宿泊予約センター」を設置・運営 協議会において、 <ul style="list-style-type: none">・旅行業に関する専門的な知識と豊富な経験を有する民間事業者を広く公募・選定・選定した事業者と協定書を締結し、協議会の公認を付与
運営事業者	<u>JTB、近畿日本ツーリスト関西、日本旅行3社のJV</u>
設置期間	<u>2018年6月28日</u> ～2019年8月30日まで
取扱対象者	G20各国代表団、日本政府関係者、警備関係者（警察・消防・海保）、国内外報道関係者、支援事業者（NTT・会議運営受託事業者等）
運営方法	宿泊者が運営事業者を支払う仲介手数料収入により運営（ <u>協議会の金銭負担は無し</u> ） （※当運営方法は、これまでに日本で開催された大規模国際・国内会議では一般的）
取扱件数見込	一日あたり <u>最大約2～3万人</u> を想定（※伊勢志摩サミットでは最大約2.1万人）

G20大阪サミット

2019 G20 Osaka Summit

2019年6月28日(金曜日)

29日(土曜日)開催



わが国初のG20サミットが大阪で開催されます。

大阪・関西のホスピタリティで、会議のために大阪を訪れるたくさんの方々に最高のおもてなしをお届けしましょう。

G20大阪サミットの成功に向けて、皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

G20サミットメンバー国の国旗は左上からG7(仏、米、英、独、日、伊、加、欧州連合)、以降アルファベット順に並べて掲載。

★G20サミットとは

- G20サミットとは、メンバー国(※)や招待国の首脳、国際機関など、約35の国や機関が参加し、経済分野を主要議題として毎年開催される国際会議です。2019年は日本が議長国となり、大阪で開催されます。日本がこれまで経験したことのない大規模な国際会議となります。
※メンバー国は、G7(フランス・アメリカ・イギリス・ドイツ・日本・イタリア・カナダ・欧州連合(EU))のほか、アルゼンチン・オーストラリア・ブラジル・中国・インド・インドネシア・メキシコ・韓国・ロシア・サウジアラビア・南アフリカ・トルコ(アルファベット順)となっています。
- 近年取り上げられる議題として、世界経済、貿易・投資、開発、気候・エネルギー、雇用、テロ対策、移民・難民問題等があります。

★G20サミット開催で大阪・関西がめざすもの

- 大阪・関西の知名度・都市格の向上
 - 国際政治を間近に感じ、国際都市大阪として成長します。
 - 世界に存在感をアピールし、2025万博誘致につなげます。
- 「世界に貢献する大阪・関西」、「安全・安心なまち大阪・関西」を世界に発信
 - ライフサイエンス分野やものづくりなど、大阪・関西の強みを発信します。
 - 万全の警備のもと、安全・安心な会議環境を確保することで、「安全・安心なまち大阪・関西」を発信します。
- 地域経済の活性化
 - 大阪・関西経済の活性化や都市魅力の向上につなげます。

★オール大阪・関西での“おもてなし”

G20サミット成功には、会場周辺の皆さまをはじめ、オール大阪・オール関西一丸となって、国内外から来訪されるお客さまをあたたくお迎えすることが不可欠です。皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

※開催期間中は、G20各国代表団、国内外報道関係者、日本政府関係者、警備関係者、支援事業者など、約3万人の方々が大阪を訪れることが想定されています。

※開催会場はインテックス大阪(大阪市住之江区)が予定されています。交通規制等の影響により、会場周辺はもとより、広範な地域の皆さまにご不便をおかけすることが予想されます。ご理解・ご協力をお願いいたします。